

全国月間火山概況（平成 27 年 6 月）

口永良部島では 18 日 12 時 17 分頃に噴火が発生し、口永良部島の東海上で、噴火に伴う小さな噴石及び降灰が確認されました。また、18 日 16 時 31 分と 19 日 09 時 43 分にもごく小規模な噴火が発生しました。今後も、5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性があります。

大きな噴石の飛散及び火砕流の流下が切迫している居住地域では、厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。

箱根山では、29 日 07 時 32 分から約 5 分間の火山性微動が発生し、同日 12 時 45 分頃には大涌谷の北から北東にかけて最大約 1.2 km の範囲で降下物を確認しました。その後の調査で大涌谷において新たな噴気孔が確認されました。30 日に実施した現地調査では、29 日に確認した噴気孔周辺で火山灰等の堆積による盛り上がりを確認され、ロープウェイ大涌谷駅付近で降灰を確認しました。これらのことから、大涌谷で 29 日夜から 30 日朝にかけてごく小規模な噴火が発生したと判断し、30 日 12 時 30 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 3（入山規制）に引き上げました。

今後も小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大涌谷周辺の概ね 1 km の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

桜島の昭和火口では、爆発的噴火が 64 回発生するなど、活発な噴火活動が継続しました。

桜島島内の伸縮計では、1 月 1 日頃から山体の膨張と考えられる変化が継続しています。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

西之島では、海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続し、新たな陸地の拡大が続いています。今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられます。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがありますので、西之島の中心から概ね 4 km 以内では噴火に警戒してください。

吾妻山では、大穴火口付近直下を震源とする火山性地震が増減を繰り返しながらやや多い状態で経過しています。また、大穴火口からの噴気活動はやや活発な状態が継続しています。大穴火口から概ね 500 m の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

草津白根山では、湯釜付近の膨張を示す地殻変動が認められています。湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側に当たる斜面で熱活動の活発な状態が継続しており、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられています。湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

浅間山では、4 月下旬頃から山頂直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震が多い状態が続いています。また、二酸化硫黄の放出量が 11 日から急増しました。

これらのことから、浅間山では火山活動が高まっていると考えられ、火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があることから、11 日 15 時 30 分に火口周辺警報を発表し噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。

その後、16 日及び 19 日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生しました。

19 日以降、噴火は発生していませんが、火山ガスの放出量が多い状態が続いているなど、火山活動は引き続き高まった状態で経過しています。今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、昨年（2014 年）10 月以降噴火が発生していないことから、昨年 9 月 27 日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられます。

これらのことから、26 日 17 時 00 分に火口周辺警報を発表し噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引き下げました。

しかしながら、弱いながらも噴煙活動や地震活動が続いていることから、昨年 9 月 27 日より規模の小さな噴火が今後も突発的に発生する可能性は否定できません。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

阿蘇山の中岳第一火口では、今期間、噴火は観測されませんでした。火山性微動の振幅は、消長を繰り返しながら、概ね大きな状態で継続しました。

中岳第一火口では火山活動が停滞する傾向がみられるものの、活発な火山活動が続いていることから、中岳第一火口から概ね1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（新燃岳）では、火山性地震は概ね少ない状態で経過しました。北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられていましたが、2015 年 1 月頃から停滞しています。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

諏訪之瀬島の御岳火口では、今期間、噴火は観測されませんでした。御岳火口は、長期にわたり噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

蔵王山では、2015 年 4 月に御釜周辺が震源と推定される火山性地震が増加し、火山活動が活発になりましたが、5 月下旬以降は地震の少ない状態で経過しています。火山性微動も 5 月 17 日を最後に観測されていません。また、これまでに行った現地調査や上空からの観測等では、御釜周辺と丸山沢噴気地熱地帯をはじめ想定火口域（馬の背カルデラ）内に特段の変化は確認されていません。

これらのことから、蔵王山では噴火の発生する可能性が低くなったと判断し、16 日 09 時 00 分に噴火予報を発表し、火口周辺警報（火口周辺危険）から噴火予報（活火山であることに留意）に引き下げました。

2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、2014 年 10 月以降はわずかな膨張を示す地殻変動が観測されるなど、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

三宅島では、火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013 年 9 月以降は 1 日あたり 500 トン以下で経過しています。また、山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過していることから、三宅島では噴火が発生する可能性は低くなったものと考えられます。

これらのことから、5 日 14 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げました。

しかし、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、山頂火口内及び主火口から 500m 以内では火山灰噴出に警戒してください。また、火山ガスの放出が継続していることから、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるかと予想される地域では警戒してください。

表 1 7 月 8 日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火警報	レベル 5（避難）	口永良部島*
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	箱根山、桜島
	入山危険	西之島*
	レベル 2（火口周辺規制）	吾妻山、草津白根山、浅間山、御嶽山、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島*
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場*
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山、那須岳、新潟焼山、焼岳、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、霧島山（新燃岳、御鉢以外）、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田崩山、折捉焼山、折捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。



図1 火山現象に関する警報を發表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

雌阿寒岳[噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

4月以降、ポンマチネシリ火口付近の浅い所を震源とする、微小な火山性地震がやや多い状態が継続していましたが、6月以降は徐々に減少しています。

全磁力連続観測によると、ポンマチネシリ 96-1 火口近傍の地下では、2015年3月中旬以降熱活動が活発化している可能性があります。今後の火山活動の推移に注意してください。

十勝岳[噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

15日から18日にかけて実施した現地調査では、赤外熱映像装置により、62-2火口内の南側と振子沢噴気孔群で地熱域の広がり観測されました。62-2火口周辺の一部では熱活動が次第に高まっている可能性が考えられます。

ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生及び発光現象などが観測されており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

蔵王山[噴火予報（活火山であることに留意）]←16日に火口周辺警報（火口周辺危険）から引下げ

蔵王山では、2015年4月に御釜周辺が震源と推定される火山性地震が増加し、火山活動が活発になりましたが、5月下旬以降は地震の少ない状態で経過しています。火山性微動も5月17日を最後に観測されていません。また、これまでに行った現地調査や上空からの観測等では、御釜周辺と丸山沢噴気地熱地帯をはじめ想定火口域（馬の背カルデラ）内に特段の変化は確認されていません。

これらのことから、蔵王山では噴火の発生する可能性が低くなったと判断し、16日09時00分に噴火予報を發表し、火口周辺警報（火口周辺危険）から噴火予報（活火山であることに留意）に引き下げました。

17日からは地震回数がやや増加し、その後、増減を繰り返しながら27日に21回、29日に24回と、

やや多い状態となっています。

2013年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、2014年10月以降はわずかな膨張を示す地殻変動が観測されるなど、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

吾妻山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

大穴火口付近直下を震源とする火山性地震は、増減を繰り返しながらやや多い状態で経過し、今期間の地震回数は255回(前月247回)となりました。火山性微動は観測されませんでした。

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いています。

浄土平の傾斜計では、2014年4月以降、緩やかな西側(火口方向)上がりの変動が継続しています。

GNSS¹⁾連続観測では、2014年9月頃から一切経山南山腹観測点と関係する基線で緩やかな変化がみられており、一切経山付近の膨張を示すと考えられます。

大穴火口から概ね500mの範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

草津白根山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

2014年3月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加しています。2014年8月20日以降はやや少ない状態で経過していますが、2015年1月以降一時的な火山性地震の増加もみられています。28日19時13分頃に振幅の小さな火山性微動(継続時間:2分15秒)が発生しました。火山性微動が発生するのは2013年1月1日(継続時間:2分12秒)以来です。火山性微動の発生前後で地震活動やその他のデータに特段の変化はありませんでした。

地殻変動観測によると湯釜付近の膨張を示す変動が認められていましたが、2015年4月頃より鈍化しています。

湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側に当たる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス成分及び湯釜湖水の化学成分にも活動活発化を示す変化がみられています。また、全磁力観測による2014年5月以降の湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる変化は、7月以降停滞しています。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷地形などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがありますので、注意してください。

浅間山[噴火警戒レベル2(火口周辺規制)]←11日に噴火警戒レベル1(活火山であることに留意)から引上げ

浅間山では、4月下旬頃から山頂直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震が多い状態が続いています。また、二酸化硫黄の放出量が、1日の観測で1日あたり200トン、8日の観測で500トンでしたが、11日の観測で1,700トンと急増しました。

これらのことから、浅間山では火山活動が高まっていると考えられ、火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があることから、11日15時30分に火口周辺警報を発表し噴火警戒レベルを1(活火山であることに留意)から2(火口周辺規制)に引き上げました。

その後、16日及び19日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生しました。

19日以降、噴火は発生していませんが、火山ガスの放出量が多い状態が続いているなど、火山活動は引き続き高まった状態で経過しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

御嶽山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]←26日に噴火警戒レベル3(入山規制)から引下げ

御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、昨年(2014年)10月以降噴火が発生していないことから、昨年9月27日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられます。

これらのことから、26日17時00分に噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引下げ、警戒の必要な範囲を火口から概ね1kmの範囲に縮小しました。

しかしながら、弱いながらも噴煙活動や地震活動が続いていることから、昨年9月27日より規模の小さな噴火が今後も突発的に発生する可能性は否定できません。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

箱根山[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]←30日に噴火警戒レベル2（火口周辺規制）から引上げ

箱根山では、29日07時32分から約5分間の火山性微動が発生し、同日12時45分頃には大涌谷の北から北東にかけて最大約1.2kmの範囲で降下物を確認しました。その後の調査で大涌谷において新たな噴気孔が確認されました。30日に実施した現地調査では、29日に確認した噴気孔周辺で火山灰等の堆積による盛り上がり確認され、ロープウェイ大涌谷駅付近で降灰を確認しました。これらのことから、大涌谷で29日夜から30日朝にかけてごく小規模な噴火が発生したと判断し、30日12時30分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

7月1日05時頃に遠望カメラにわずかに火山灰の付着が認められたことから、30日から7月1日にかけてもごく小規模な噴火が発生している可能性があります。また、29日16時以降1日にかけて、断続的に空振を観測しており、この空振は噴出現象に伴う発生している可能性があります。

7月2日に神奈川県温泉地学研究所及び気象庁が実施した現地調査では、29日に確認した噴気孔から引き続き白色の噴煙が勢いよく出ているのを確認しました。この噴気孔の大きさは20m程度となっており、30日の調査時に比べて拡大していました。この噴気孔から噴火したものとみられること、噴気孔の形状なども考慮し、この噴気孔について、今後は火口と呼称することとします。また、この噴気孔（火口）の周囲に3つの新たな噴気孔を確認しました。

今後も小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大涌谷周辺の概ね1kmの範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

三宅島[火口周辺警報(噴火警戒レベル1、活火山であることを留意)]

←5日に噴火警戒レベル2（火口周辺規制）から引下げ

噴火は2013年1月22日以降発生していません。火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013年9月以降は1日あたり500トン以下で経過しています。また、山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過していることから、三宅島では噴火が発生する可能性は低くなったものと考えられます。

これらのことから、5日14時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることを留意）に引き下げました。

しかし、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒が必要です。

また、火山ガスの放出は続いていますので、引き続き火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があると思われ地域では警戒してください。

西之島[火口周辺警報(入山危険)及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続し、新たな陸地の拡大が続いています。

7日、12日、14日に第三管区海上保安本部が、18日に海上保安庁が上空からの観測を実施し、第7火口での活発な噴火活動の継続を確認しました。

第7火口の火砕丘北東斜面に形成されている溶岩流出口からは溶岩が流出し、火砕丘東側を回り込んで扇型に拡がりながら南東方向へ流下していました。また、溶岩流出口からは、青白色の火山ガスを放出していました。

ごく薄い黄緑色の変色域が海岸線に沿って幅約100～200mで分布していたのが確認されました。

新たな陸地の大きさは、東西方向に約1,980m、南北方向は約2,090m、面積は約2.70km²（前回5月20日：約2.57km²）でした。

西之島及び新たな陸地には、津波を発生させる恐れのある断層やクラックは認められませんでした。

西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられます。また、

西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね2 km の範囲に及ぶおそれがありますので、西之島の中心から概ね4 km 以内の範囲では噴火に警戒してください。

硫黄島[火口周辺警報(火口周辺危険)及び火山現象に関する海上警報]

火山性地震はやや少ない状態で経過しています。GNSS¹⁾ 連続観測によると、地殻変動は2014年12月上旬頃から隆起の傾向がみられ、2015年3月頃から隆起速度が上がっています。その他の観測データに特段の異常は認められません。

島北西部の井戸ヶ浜では、20日18時18分から22分にかけて最大200mの水蒸気の噴出を確認しました。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。このことから火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生している地点(ミリオンダラーホール(旧噴火口)等)及びその周辺では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場[噴火警報(周辺海域)及び火山現象に関する海上警報]

これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁による観測によると、福徳岡ノ場では長期にわたり火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010年2月3日には小規模な海底噴火が発生しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

阿蘇山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

中岳第一火口では、今期間、噴火は観測されませんでした。

火山性微動の振幅は、消長を繰り返しながら、概ね大きな状態で継続しました。

期間中に実施した現地調査では、10日に141火孔内の一部に湯だまりを確認しました。赤外熱映像装置による観測では、湯だまりの最高温度は約80℃でした。湯だまりを確認したのは、2014年7月8日以来です。その後も、引き続き湯だまりを確認しましたが、29日には湯だまりが消失しているのを確認しました。

中岳第一火口では火山活動が停滞する傾向がみられるものの、活発な火山活動が続いていることから、中岳第一火口から概ね1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。火口周辺では強風時に小さな噴石が1 km を超えて降るため、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石にも注意してください。

霧島山(新燃岳)[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

新燃岳火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過しました。

GNSS¹⁾ 連続観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013年12月頃から伸びの傾向が見られていましたが、2015年1月頃から停滞しています。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。降雨時には、泥流や土石流に注意してください。

桜島[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

昭和火口では、爆発的噴火が64回発生するなど、活発な噴火活動が継続しました。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が4合目(昭和火口より800~1,300m)まで達する爆発的噴火が5回発生しました。

また、4日11時25分、14時22分及び21時04分の爆発的噴火に伴って、ごく小規模の火砕流が発生し、最大で火口から東側へおよそ400m流下しました。噴煙の高さの最高は、1日12時33分の爆発的噴火による火口縁上3,300mでした。

南岳山頂火口では、22日に灰白色の噴煙が火口縁上200mまで上がるごく小規模な噴火が発生しまし

た。同火口でごく小規模な噴火が観測されたのは5月12日以来です。

桜島島内の伸縮計では、2015年1月1日頃から山体の膨張を示す変化が継続しています。桜島島内の傾斜計では、2015年1月以降、山体がわずかに隆起する傾向が続いていましたが、3月以降停滞する傾向が見られます。GNSS¹⁾連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の膨張を示す伸びの傾向は、2013年6月頃から停滞していましたが、2015年1月から伸びの傾向がみられます。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

口永良部島[噴火警報(噴火警戒レベル5、避難)及び火山現象に関する海上警報]

口永良部島の火山活動は活発な状態が継続しています。

18日12時17分頃に噴火が発生し、口永良部島の東海上で、噴火に伴う小さな噴石及び降灰が確認されました。現地調査及び聞き取り調査では、屋久島町、西之表市及び中種子町で降灰を確認しました。また、18日16時31分と19日09時43分にもごく小規模な噴火が発生しました。

20日に九州地方整備局の協力により、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が実施した上空からの観測によると、新岳火口周辺や山体斜面で18日の噴火による新たな火砕流の痕跡は認められませんでした。噴煙のため火口内の状況は確認できませんでしたが、新岳火口の形状に特段の変化は認められませんでした。

6、20、21、29日に、東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所及び気象庁が実施し観測では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり800～1,700トン（5月29日の噴火直後3,800トン）と依然として多い状態でした。

今後も、5月29日と同程度の噴火が発生する可能性があります。

大きな噴石の飛散及び火砕流の流下が切迫している居住地域では、厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。屋久島町の避難等の指示に従ってください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

新岳火口から半径2海里以内の周辺海域では、噴火による影響が及ぶ恐れがありますので、噴火に警戒してください。

諏訪之瀬島[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

御岳火口では、噴火は観測されませんが、長期にわたり噴火を繰り返しています。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は活火山総覧（第4版）による）

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成27年7月8日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）
	大雪山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意）
	吾妻山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方 関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	草津白根山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	御嶽山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	白山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
新島		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
神津島		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
三宅島		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
八丈島		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
青ヶ島		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
西之島		火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替
硫黄島		火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒）	

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	九重山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日噴火予報(レベル1、平常) 2013年9月25日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年10月11日噴火予報(レベル1、平常) 2013年12月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2014年3月12日噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年2月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年3月22日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年6月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2013年10月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2014年10月24日火口周辺警報(火口周辺危険) 2015年5月1日噴火予報(平常)
	桜島	火口周辺警報(レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年7月14日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年8月28日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月10日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月24日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2010年9月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2012年3月12日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年3月21日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替
	薩摩硫黄島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2012年11月29日噴火予報(レベル1、平常) 2013年6月4日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年7月10日噴火予報(レベル1、平常)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	噴火警報 (レベル5、避難)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報(レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報(レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報(レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年5月29日噴火警報(レベル5、避難)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

注) 警報及び予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

(2) その他の活火山

以下の活火山(*印を除く)では平成19年12月1日に噴火予報(平常)を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された平成23年6月7日に噴火予報(平常)を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、バルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注) 平成27年5月18日から(平常)は(活火山であることに留意)に変更しました。